

参 考 文 献

- 石尾政信 1982年 「広隆寺跡発掘調査概要」『京都府遺跡調査概報 第3冊』
- 石田志明・中村徹也 1972年 『京都大学理学部構内遺跡発掘調査の概要』
- 泉 拓良 1977年 「京都大学植物園遺跡」『佛教藝術』115号
- 1983年 「京都大学教養部構内A O21区の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和56年度』
- 泉 拓良・宇野隆夫 1979年 「京大農学部遺跡B G32区の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和53年度』
- 1980年 「京都大学北部構内B G31区の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和54年度』
- 泉 拓良・浜崎一志 1981年 「京都大学構内の試掘・立合調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和55年度』
- 泉 拓良・吉野治雄 1979年 「京大医学部遺跡A O18区の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和53年度』
- 泉 拓良ほか 1977年 「農学部遺跡B E33の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和51年度』
- 1980年 「和歌山県瀬戸遺跡の試掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和54年度』
- 伊勢田進 1966年 「南紀白浜町瀬戸臨海発見の石棒」『田辺文化財』10
- 五十川伸矢 1981年a 「京都大学本部構内A T27区の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和55年度』
- 1981年b 「平安京・中世京都の葬地と墓制」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和55年度』
- 1982年 「京都大学教養部構内A P22区の梵鐘鑄造遺構について」『梵鐘鑄造遺構の現状とその問題』
- 1983年 「京都大学本部構内A X28区の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和56年度』
- 岩出町教育委員会 1982年 『那賀郡岩出町所在岡田遺跡発掘調査概報Ⅲ——町道建設にともなう緊急発掘調査——』
- 宇野隆夫 1981年 「遺物の考察」『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ——白河北殿北辺の調査——』
- 宇野隆夫・岡田保良 1979年 「京都大学吉田キャンパスの試掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和53年度』
- 梅原末治 1923年 「京都帝国大学農学部敷地ノ石器時代遺跡」『京都府史蹟勝地調査會報告 第5冊』
- 1935年a 「京都北白川小倉町石器時代遺跡調査報告」『京都府史蹟名勝天然紀念物調査報告 第16冊』
- 1935年b 「北白川上終町史前住居遺跡」『京都府史蹟名勝天然紀念物調査報告 第16冊』
- 1936年 『摂津阿武山古墓調査報告』（『大阪府史蹟名勝天然紀念物調査報告 第7輯』）
- 大阪府教育委員会・大阪文化財センター 1978年 『長原 近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書』
- 大阪文化財センター 1980年 『瓜生堂 近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書——本文編——』

- 岡田保良・宇野隆夫 1979年 「京大理学部遺跡B E 29区の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和53年度』
- 岡田保良・吉野治雄 1980年 「京都大学本部構内A W 28区の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和54年度』
- 岡山県教育委員会 1980年 『旭川放水路(百間川)改修工事に伴う発掘調査』(『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告39』)
- 1981年 『旭川放水路(百間川)改修工事に伴う発掘調査Ⅱ』(『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告46』)
- 小野山節・都出比呂志 1973年 『高槻市安満遺跡の条里遺構』
- 神崎 勝 1982年 「兵庫県多可郡中町天田<多可寺跡>の梵鐘鑄造遺構について」『梵鐘鑄造遺構の現状とその問題点』
- 北野耕平 1976年 『河内野中古墳の研究』(『大阪大学文学部国史研究室研究報告 第2冊』)
- 京大調査会(京都大学農学部構内遺跡調査会・京都大学理学部附属瀬戸臨海実験所構内遺跡調査会)
1977年 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和51年度』
- 京大埋文研(京都大学埋蔵文化財研究センター)
1978年a 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和52年度』
1978年b 『京都大学埋蔵文化財調査報告 第1冊——京大農学部遺跡B G 36区——』
1979年 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和53年度』
1980年 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和54年度』
1981年a 『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ——白河北殿北辺の調査——』
1981年b 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和55年度』
1983年 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和56年度』
- 京文研(京都市埋蔵文化財研究所)
1983年a 『北野庵寺発掘調査報告書』(『京都市埋蔵文化財研究所調査報告 第7冊』)
1983年b 『左京六条三坊』『平安京跡発掘調査概報 昭和57年度』
- 串本町教育委員会 1969年 『南紀串本笠嶋遺跡——発掘調査報告——』
- 熊本県教育委員会 1975年 『塚原——熊本県下益城郡城南町所在塚原古墳群の調査——』(『熊本県文化財調査報告 第16集』)
- 倉吉市教育委員会 1980年 『倉吉の鈔物師』(『倉吉市有形民俗文化財調査報告Ⅱ』)
- 御坊市遺跡調査会 1980年 『塩屋地区遺跡発掘調査概報——関西電力(株)火力発電所設置に伴う調査——第2次』
- 近藤義行 1977年 「森山遺跡発掘調査概報」『城陽市埋蔵文化財調査報告書 第6集』
- 近藤義郎 1964年 「古目良遺跡」『田辺文化財』8
- 坂下町教育委員会 1975年 『金屋・星の宮遺跡』
- 滋賀県教育委員会 1979年 『軽野正境遺跡発掘調査報告書』
- 島田貞彦 1924年 「京都市北白川追分町発見の石器時代遺跡」『考古学雑誌』第14巻第5号
- 島田貞彦・水野清一・小川五郎・三宅宗悦 1929年 「摂津国高槻「摂津農場」石器時代遺跡調査報告」『人類学雑誌』第44巻第7号
- 清水芳裕 1983年 「京都府美月遺跡の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和56年度』
- 清水芳裕・吉野治雄 1981年 「京都大学医学部構内A P 19区の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和55年度』

- 管原正明 1983年 「畿内における土釜の製作と流通」『文化財論叢』（『奈良国立文化財研究所創立30周年記念論文集』）
- 高橋美久二・金村允人・森 毅 1979年 「中海道遺跡発掘調査報告」『向日市埋蔵文化財調査報告書 第3集』
- 田辺昭三 1966年 『陶邑古窯址群Ⅰ』（『平安学園考古学クラブ研究論集 第10冊』）
- 坪井良平 1970年 『日本の梵鐘』
- 1977年 「梵鐘鑄型の出土例」『史迹と美術』第47輯17号
- 友野良一 1979年 「寺平遺跡の梵鐘鑄造跡」『月刊文化財』194号
- 中村徹也 1973年 『京都大学農学部総合館周辺埋蔵文化財発掘調査の概要』
- 1974年a 『京都大学農学部総合館北棟建設予定地内埋蔵文化財発掘調査の概要Ⅰ』
- 1974年b 『京都大学理学部ノートバイオトロン実験装置室新営工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の概要』
- 1975年 『京都大学農学部総合館北棟建設予定地内埋蔵文化財発掘調査の概要Ⅱ』
- 中村友博 1977年 「和歌山県瀬戸遺跡の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和51年度』
- 奈文研（奈良国立文化財研究所）
- 1980年 「山田寺第3次（講堂・北面回廊）の調査」『飛鳥藤原宮発掘調査概報10』
- 丹羽佑一 1978年 「和歌山県瀬戸遺跡の発掘調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和52年度』
- 橋本久和 1980年 「中世土器研究予察」『上牧遺跡発掘調査報告書』（『高槻市文化財調査報告書 第13冊』）
- 浜崎一志 1983年a 「昭和56年度京都大学構内の試掘・立合調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和56年度』
- 1983年b 「浄蓮華院と吉田構——応仁の乱後の吉田の復元的考察——」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和56年度』
- 林 博通 1978年 「梵鐘を鑄造した遺跡の調査」『月刊文化財』176号
- 広瀬和雄 1978年 『岬町遺跡群発掘調査概要——小島東遺跡・淡輪遺跡——』（『大阪府文化財調査概要1977』）
- 福井県教育委員会 1972年 『足羽郡足羽町篠尾廃寺調査報告』
- 藤岡謙二郎 1973年 「北白川扇状地と教養部構内発見の遺物包含層並びにその先史地理学的意義」『人文』第19集
- 藤永正明 1981年 「調査の成果」『林遺跡発掘調査概要・Ⅲ』
- 松田真一 1982年 「山添村広瀬遺跡発掘調査概報」『奈良県遺跡調査概報 1981年度』
- 丸岡町教育委員会 1981年 『豊原寺跡Ⅱ 華蔵院跡第2次発掘調査概報』
- 水野正好 1978年 「金貴大徳の呪句と埋井戸の呪儀」『草戸千軒』No. 58
- 向日市史編さん委員会 1983年 『向日市史 上巻』
- 森 浩一・白石太一郎 1968年 「紀淡海峡地帯における古代漁業遺跡調査報告」『紀淡・鳴門海峡地帯における考古学調査報告』（『同志社大学文学部考古学調査報告 第2冊』）
- 森貞次郎・岡崎 敬 1961年 「福岡県板付遺跡」『日本農耕文化の生成』
- 横山浩一・佐原 真 1960年 『京都大学文学部博物館考古学資料目録 第Ⅰ部 日本先史時代』
- 吉野治雄 1977年 「遺跡保存と立合調査」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和51年度』
- 和歌山県教育委員会 1971年 『吉田遺跡第2次調査概報』

京都大学構内遺跡調査要項

京都大学埋蔵文化財研究センター要項

- 第1条 京都大学に埋蔵文化財研究センター（以下「センター」という。）を置く。
- 第2条 センターは、京都大学敷地内の埋蔵文化財についての調査研究及びその保存のため必要な業務を行う。
- 第3条 センターにセンター長を置く。
- 2 センター長は、京都大学の専任の教授をもって充てる。
 - 3 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。
 - 4 センター長は、センターの所務を掌理する。
- 第4条 センターに、必要に応じて、助教授、助手その他の職員を置く。
- 第5条 センターに、調査研究及び保存に関する業務を処理するため、研究部を置く。
- 2 研究部に主任を置き、前条の教官をもって充てる。
 - 3 主任は、研究部の業務をつかさどる。
- 第6条 センターにセンターの事業に関する基本的計画、人事その他管理運営に関する重要事項を審議するため、運営協議会を置く。
- 2 運営協議会は、次の各号に掲げる委員で組織する。
 - (1) センター長
 - (2) センターの研究部の主任
 - (3) 前2号以外の学識経験者のうちから総長の委嘱した者 若干名
 - (4) 事務局長及び施設部長
 - 3 センター長は、運営協議会を招集し、議長となる。
 - 4 前各項に規定するもののほか、運営協議会の運営に関し必要な事項は、運営協議会が定める。
- 第7条 この要項に定めるもののほか、センターの組織及び運営に関し必要な事項はセンター長が定める。

センター長	樋口隆康（文学部教授）	研究部主任	泉 拓良（文学部助手）
運営協議会委員	上田正昭（教養部教授）	研究部研究員	清水芳裕（文学部助手）
〃	池田次郎（理学部教授）	〃	五十川伸矢（文学部助手）
〃	西川幸治（工学部教授）	〃	浜崎一志（工学部助手）
〃	石田志朗（理学部助教授）	〃	飛野博文（施設部技術補佐員）
〃	澤田 徹（事務局長）	事 務 室	大八木邦雄（施設部事務官）
〃	井内 昭（施設部長）	〃	梅川厚子（施設部技術補佐員）

京都大学構内遺跡調査会規約

- 第1条 この会は、京都大学構内遺跡調査会(以下「調査会」という。)と称し、京都大学の委託により同大学構内における建築物新営工事等に伴い必要な敷地内の遺跡調査を行うことを目的とする。
- 第2条 調査会は、事務所を京都市左京区北白川西町財団法人阪本奨学会内に置く。
- 第3条 調査会は、第1条の目的を達成するために次の事業を行う。
- (1) 京都大学の委託により行う当該敷地内の埋蔵文化財についての発掘調査
 - (2) 前号の調査により出土した埋蔵文化財の保存、管理に関する事項の審議
 - (3) 埋蔵文化財の調査に関する発掘調査概要報告書の作成
 - (4) その他必要とする事項
- 第4条 調査会に次の役員を置く。
- (1) 会長 1 名
 - (2) 委員
 - イ 京都大学の学識経験者 若干名
 - ロ 新営工事等の敷地の属する京都大学の部局の長または部局附属施設の長
 - ハ 新営工事等の敷地の所在する地域の文化財保護行政当局の推薦する者 若干名
 - (3) 監事 若干名
- 2 会長は、前項第2号イの委員の推薦する者とする。
 - 3 委員及び監事は、会長が委嘱する。
 - 4 第1項第2号ロ及びハの委員は、当該敷地内の遺跡調査に関する委員としての任務が終わったときは、退任する。
- 第5条 会長は、調査会を代表し、業務を総括する。
- 2 委員は、委員会を構成し、委員会の議決に基づく業務を執行する。
 - 3 監事は、調査会の会計を監査する。
- 第6条 委員会は、会長及び委員をもって組織する。
- 2 委員会は、会長が招集し、議長となる。
 - 3 委員会は、新営工事等の敷地が京都市以外の地域にある場合で、必要と認めたときは、部会を置くことができる。
- 第7条 第3条の発掘調査の実施に当たるため、調査会に調査班を置く。
- 2 調査班は、調査班長、調査員及び調査補助員をもって組織する。
 - 3 調査班長は、委員会の議に基づき会長が委嘱する。
 - 4 調査員及び調査補助員は、調査班長の推薦により会長が委嘱する。
- 第8条 調査会の事務を処理するため、調査会に事務局を置く。
- 2 事務局に職員若干名を置く。

3 職員は、会長が任免する。

第9条 調査会の経費は、京都大学から支出される調査委託費をもって充てる。

第10条 調査会は、4月1日に始まる年度ごとに、事業報告書及び収支決算書を作成し、監事の監査を経て、年度終了後3月以内に委員会の承認を受けるものとする。

第11条 この規約に定めるもののほか、調査会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

会長	川上 貢(工学部教授)	
委員	樋口隆康(文学部教授)	西村 進(理学部助教授)
	亀井節夫(理学部教授)	足利健亮(教養部助教授)
	西川幸治(工学部教授)	泉 拓良(埋蔵文化財研究センター助手)
	石田志朗(理学部助教授)	松村圭三(事務局庶務部長)

規約第4条1項(2)ロ

山口昌哉(理学部長)	内田耕太郎(医療技術短期大学部主事)
原田英司(瀬戸臨海実験所長)	佐藤 俊(工学部長)
北川善太郎(学生部長)	深海 浩(農学部長)

規約第4条1項(2)ハ

	山下利弘(京都市埋蔵文化財調査センター所長)(～1月21日)	
	村内義廣(京都市埋蔵文化財調査センター所長)(1月22日～)	
監事	藤原茂男(施設部企画課長)	坂本章之助(医療技術短期大学部事務長)
	藤沢正之(理学部事務長)	中沢 清(工学部経理課長)
	飛弾昌人(学生部厚生課長)	丸田義雄(農学部事務長)
事務局員	大八木邦雄(施設部事務官)	川野美栄子(調査会事務員)
	梅川厚子(施設部技術補佐員)	中村美代(調査会事務員)

京都大学構内遺跡調査会和歌山県部会

部会長	川上 貢(工学部教授)	
委員	樋口隆康(文学部教授)	石田志朗(理学部助教授)
	亀井節夫(理学部教授)	泉 拓良(埋蔵文化財研究センター助手)

規約第4条1項(2)ロ

山口昌哉(理学部長)	藤永太一郎(瀬戸臨海実験所長)
------------	-----------------

規約第4条1項(2)ハ

	堀磨正信(和歌山県文化財保護審議会委員)	畑村半亮(和歌山県教育庁文化財課長)
	巽 三郎(和歌山県文化財保護審議会委員)	真鍋清兵衛(白浜町教育委員会教育長)
	大原 満(白浜町文化財保護審議会委員)	
監事	藤原茂男(施設部企画課長)	藤沢正之(理学部事務長)

調 査 班

調査班長・主任	泉拓良, 清水芳裕, 五十川伸矢, 浜崎一志, 飛野博文
調査協力者	蔡鳳書(現山东大学歴史学部考古学教研室副教授)
調査員	鎌田博子, 川島はる代, 古賀秀策, 榮一郎, 花谷浩, 増井正哉, 宮本一夫, 森本晋, 家根祥多
調査補助員	浅田泰央, 浅野恒一郎, 池野素子, 石井三記, 石井靖代, 井上真, 宇野かをる, 大本真理, 小川晃代, 加納聖子, 菊原淳, 岸本和幸, 桑原久男, 清水朱美, 白井宏子, 玉田芳英, 寺島千春, 中田裕香, 西脇対名夫, 橋本久子, 福元直子, 前田禎彦, 宮川禎一, 三宅由美, 宮村毅, 矢野健一, 吉田直子
作業員	赤沢俊男, 池田イシ, 石原規子, 五十棲彰雄, 五十棲宏, 的場達矢, 梅本喜代美, 大江敏代, 小原祥市, 川久保喜美栄, 川久保信子, 木村謙次, 木村漣, 久保勝央, 佐藤初江, 鈴木昌代, 田井洋子, 田中京子, 田中周子, 田原隆雄, 中嶋巖, 中村皓子, 橋本庄次, 橋本俊夫, 長谷川秀実, 浜野茂弘, 平山聖顕, 福井長次, 福田文治, 布施郁, 堀知嗣, 松尾順子, 松尾フク, 松川登城, 松田平次郎, 松本和子, 三浦信一, 水上光男, 安田秀男, 山崎伝七, 山中貞男, 吉田禎二, 吉田龍太郎
現場事務員	村松桂子, 文字幸子

和歌山県瀬戸遺跡第4次発掘調査班		調査補助員	7名
所在地	和歌山県西牟婁郡白浜町	作業員	17名
工事名	理学部附属瀬戸臨海実験所研究棟新営	病院西構内A F15区発掘調査班	
発掘期間	昭和56年9月14日～同11月20日	所在地	京都市左京区聖護院川原町
面積	1500㎡	工事名	医療技術短期大学部校舎新営
班長・主任	泉拓良, 清水芳裕, 五十川伸矢, 浜崎一志	発掘期間	昭和57年6月1日～同9月20日
調査員	家根祥多, 花谷浩, 津隈久美子, 川島はる代	面積	1028㎡
調査補助員	2名	班長・主任	清水芳裕, 浜崎一志
作業員	28名	調査員	増井正哉, 宮本一夫, 川島はる代
教養部構内A P22区発掘調査班		調査補助員	4名
		作業員	16名
北部構内B F33区発掘調査班			
所在地	京都市左京区吉田二本松町	所在地	京都市左京区北白川追分町
工事名	京都大学吉田食堂新営	工事名	吉田地区実験排水基幹整備
発掘期間	昭和56年11月20日～ 昭和57年5月8日	発掘期間	昭和57年9月21日～同11月30日
面積	1716㎡	面積	787㎡
班長・主任	五十川伸矢, 飛野博文	班長・主任	清水芳裕, 浜崎一志
調査員	竹村恵二, 家根祥多, 花谷浩, 津隈久美子	調査員	増井正哉, 川島はる代
		調査補助員	3名
		作業員	16名

和歌山県瀬戸遺跡第5次発掘調査班		作業員	20名
所在地	和歌山県西牟婁郡白浜町	北部構内B E33区発掘調査班	
工事名	理学部附属瀬戸臨海実験所研究棟新営	所在地	京都市左京区北白川追分町
発掘期間	昭和57年9月29日～同10月24日	工事名	農学部熱帯農学科校舎新営
面積	297㎡	発掘期間	昭和58年2月1日～同6月18日
班長	泉拓良	面積	803㎡
調査員	家根祥多, 花谷浩, 栄一郎	班長・主任	泉拓良, 飛野博文
作業員	17名	調査員	家根祥多, 花谷浩
本部構内A T29区発掘調査班		調査補助員	11名
所在地	京都市左京区吉田本町	作業員	16名
工事名	工学部機械系学科校舎新営	農学部附属植物生殖質研究施設排水管理設	
発掘期間	昭和57年11月1日～	予定地試掘調査	
	昭和58年1月31日	所在地	京都府向日市物集女町中条1
面積	890㎡	試掘期間	昭和58年1月26日～同2月2日
班長・主任	泉拓良, 飛野博文	面積	20㎡
調査員	家根祥多	担当者	泉拓良, 飛野博文
調査補助員	4名		

京都大学構内遺跡の調査体制

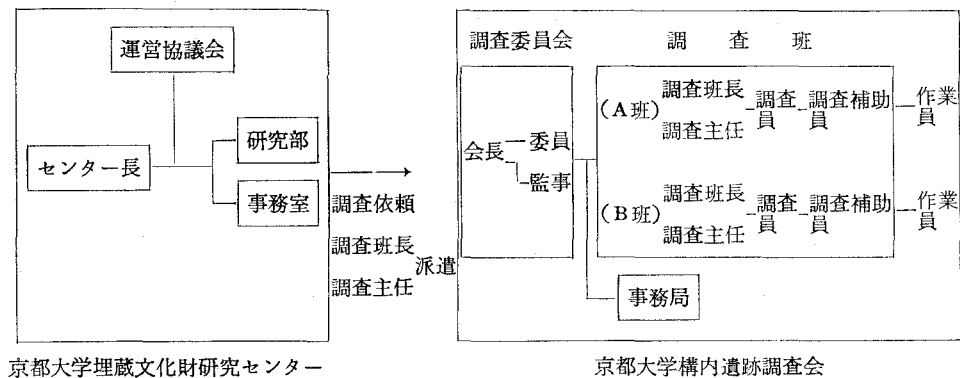


表6 京都大学構内遺跡のおもな調査

(地点は図版1を参照, 文献中「埋」は京大埋文研, 「調」は京大調査会をさす。)

年 度	遺 跡 名	地 点	担 当 者	調査の 種 類	面積 (m ²)	遺 構	遺 物	文 献	備 考
大正12年	農 学 部	1・2	濱田 耕作	表採・ 試掘			縄文土器, 石器	梅原23, 島田24	
13年	農 学 部	不明	藤本理三郎				石 棒	横山・ 佐原60	
昭和4年	大 阪 府 満 洲		島田 貞彦, 水野清一ほか	発 掘			弥生土器	島田・水 野ほか29	
9年	大阪府阿 武山古墳		梅原 末治	発 掘			乾漆棺, 玉 飾枕	梅原36	
10年	北 白 川 小 倉 町		梅原 末治				縄文土器, 石器	梅原35a	
31年	農 学 部	3	羽館 易	採 集			縄文土器		
46年	農 学 部	4	石田 志朗	採 集			弥生土器	埋79	
47年	農 学 部	5		採 集			石 棒		
	大 阪 府 満 洲		小野山 節 都出比呂志	事前発掘	1500	条里の溝	弥生土器, 石器	小野山・ 都出73	建物をずら し条里の溝 を保存
	追分地蔵	6	石田 志朗 中村 徹也	事前発掘	600		弥生土器, 石器	石田・ 中村72	
	教養部	7	藤岡謙二郎	工事中採 集・実測			縄文土器	藤岡73	
48年	農 学 部	8	中村 徹也	事前発掘	13	瓦 溜	縄文土器, 瓦(平安)	埋78b	瓦溜埋戻し
	農 学 部	9	中村 徹也	事前発掘	600		縄文土器, 土師器	中村73	
	農 学 部	10	中村 徹也	事前発掘	40		縄文土器		
	植 物 園	11	中村 徹也	事前発掘	400	縄文後期 甕棺・配 石遺構	縄文土器	中村74b, 泉77	甕棺・配石 遺構の移築 を決定
49年	農 学 部	12	中村 徹也	事前発掘	800		縄文土器	中村74a	
	農 学 部	13	中村 徹也	事前発掘	800		縄文土器	中村75	
50年	教養部	14	小野山 節 中村 徹也	事前発掘	750		縄文土器		
51年	農 学 部 B E 33区	16	泉 拓良	事前発掘	900	縄文晩期 土壌墓	縄文土器, 土師器, 瓦	調77	
	病 院 A E 15区	19	岡田 保良	事前発掘	2200	古代・中 世池, 溝, 土器溜	土師器, 瓦, 陶磁器	調77, 埋81a	
	植 物 園 B D 35区	29	吉野 治雄	保 存				調77	甕棺・配石 の移築復原

年 度	遺 跡 名 称	地 点	担 当 者	調 査 の 種 類	面 積 (m ²)	遺 構	遺 物	文 献	備 考
昭和51年	病 院 A H17区	34	泉 拓良	事前発掘	200	近世溝, 井戸, 集 石	土師器, 瓦	埋78 a	
	和歌山県 瀬 戸		丹羽 佑一	事前発掘	300	縄文時代 土壇墓	縄文土器, 人骨	埋78 a	
52年	病 院 A F14区	39	岡田 保良 宇野 隆夫	事前発掘	800	古代護岸, 中世溝, 井戸	土師器, 瓦, 陶磁器	埋78 a, 埋81 a	
	医 学 部 A O18区	41	泉 拓良 吉野 治雄	事前発掘	1200	中世溝, 土器溜, 井戸	土師器, 瓦, 陶磁器	埋79	
53年	理 学 部 B E29区	54	岡田 保良 吉野 隆夫	事前発掘	500	弥生中期 方形周溝 墓, 中世 火葬塚	弥生土器, 土師器, 瓦	埋79	火葬塚と方 形周溝墓を 現地保存
	農 学 部 B G32区	55	泉 拓良 宇野 隆夫	事前発掘	100	古代土坑, 溝	縄文土器, 土師器	埋79	
	農 学 部 B G31区	56	泉 拓良 宇野 隆夫	事前発掘	650	縄文晩期 埋没林	縄 文 土 器	埋80	
	本 部 A W28区	57	岡田 保良 吉野 治雄	事前発掘	500	近世白川 道	陶磁器, 土 師器, 銭貨	埋80	
54年	医 学 部 A P19区	74	清水 芳裕 吉野 五十川 仲矢	事前発掘	2776	中世井戸, 溝, 土器 溜	土師器, 瓦, 陶磁器, 旧 石器	埋81 b	
	本 部 A T27区	75	五十川仲矢	事前発掘	400	奈良後期 竪穴住居, 中世土壇 墓, 近世 道路	土師器, 須 恵器, 白磁	埋81 b	竪穴住居跡 を現地保存
55年	本 部 A T27区	89	泉 拓良	事前発掘	115	近世道路, 堀	土師器, 近 世陶磁器	埋81 b	
	本 部 A X28区	90	泉 拓良 五十川仲矢 浜崎 一志	事前発掘	1120	近世白川 道, 中世 土器溜, 井戸, 建 物	土師器, 瓦, 陶磁器, 銅 鏃(弥生), 磨製石鏃	埋83	
	京 都 府 月 美		泉 拓良 清水 五十川 浜崎 吉野 仲矢 治雄	事前発掘	1468	弥生中・ 後期水路, 土坑, 中 世土器溜	弥生土器, 打製石斧, 瓦器, 陶磁 器	埋83	立合調査中 に遺跡発見, 工事を中断し 発掘調査
	教 養 部 A O21区	91	吉野 治雄	事前発掘	112	中世井戸, 土壇墓	土師器, 瓦 器, 陶磁器	埋83	
	本 部 実験排水	98	清水 芳裕	立 合		流路, 中 世土器溜	土師器, 丸 瓦	埋83	遺構実測

年 度	遺 跡 名 称	地 点	担 当 者	調 査 の 種 類	面 積 (㎡)	遺 構	遺 物	文 献	備 考
昭和56年	理 学 部 B D 30区	109	泉 拓良 浜崎 一志	事前発掘	272	古代建物、 近世瓦溜	土師器、瓦、 陶磁器	埋83	
	和歌山県 瀬 戸		泉 拓良 清水 芳裕 五十川 伸矢 浜崎 一志	事前発掘	1500	弥生土坑、 弥生配石、 古墳時代 土坑	縄文土器、 硬玉管玉、 弥生土器、 製塩土器	第5章	
	本 A X 28区	110	浜崎 一志	事前発掘	34	中世土器 溜	土師器、瓦、 陶磁器、硯	埋83	
	教 養 部 A P 22区	111	五十川 伸矢 飛野 博文	事前発掘	1716	古墳、古 代梵鐘、 造遺構、 中世門、 溝、墓	縄文土器、 弥生土器、 須忠器、土 師器、鋳型、 浴解如	第2章	梵鐘鑄造遺 構を現地保 存
57年	京 都 市 本 山			分布調査			縄文土器、 緑釉陶器、 灰釉陶器	埋83	
	京 都 府 中 海 道		泉 拓良	試 掘	20	中世土器 溜	縄文土器、 土師器	第1章	
	病 院 A F 15区	122	清水 芳裕 浜崎 一志	事前発掘	1028	中世井戸、 溝、土坑	土師器、瓦 器、白磁	第3章	
	農 学 部 B F 33区	123	清水 芳裕 浜崎 一志	事前発掘	787	縄文住居 跡、中世 土坑	縄文土器、 土師器	第4章	縄文住居跡 を現地保存
	和歌山県 瀬 戸		泉 拓良	事前発掘	297	古代製塩 炉	縄文土器、 弥生土器、 製塩土器	第5章	古代製塩炉 を移築保存
	本 A T 29区	124	泉 拓良 飛野 博文	事前発掘	890	中世堀、 建物	土師器、瓦 器、陶磁器		整理中
	農 学 部 B E 33区	125	泉 拓良 飛野 博文	事前発掘	803	近世・中世 水山、溝	土師器、瓦、 陶磁器		発掘中
	本 A X 28区	126	五十川 伸矢	立 合		中世土器 溜	土師器	第1章	
	理 学 部 B D 29区	127	五十川 伸矢	立 合			土師器		
	病 院 A G 12区	128	五十川 伸矢 浜崎 一志	立 合					遺跡なし
	京 都 府 宇 治 市		五十川 伸矢	立 合					遺跡なし
	本 A T 28区	129	五十川 伸矢	立 合		包含層			
	実 験 室 排 水 管	130	五十川 伸矢 浜崎 一志	立 合			土師器、瓦 器、瓦		
	西 排 水 部 管	131	五十川 伸矢	立 合					遺跡なし
	和歌山県 瀬 戸		泉 拓良	立 合					
	教 養 部 A Q 21区	132	清水 芳裕 五十川 伸矢 浜崎 一志	立 合		近世道路 ・	土師器、近 世陶磁器	第1章	